

設計に関して

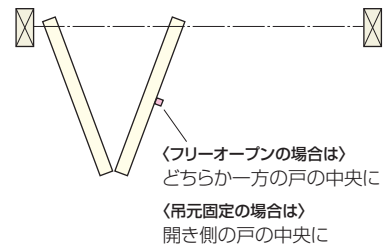
Q1

折戸の開閉操作がし易い取手の取付け位置を教えてください。

A1

折戸の開閉操作が最も易い取手の取付け位置は、床から900mm～1,000mmの位置で、折戸丁番が取付けられている折戸連結部の近くになります。ただしこの位置に取付けると、折戸を閉める時に指が挟まれる危険性があります。

指挟み防止対策のとられていない一般的な取手やツマミを使用する場合は、多少操作性は犠牲になりますが、床から900mm～1,000mmの位置で、フリーオープンの場合はどちらか一方の折戸の、吊元固定の場合は開き側の折戸の、幅方向中心位置に取付けることが多いようです。



Q2

AFD-2800-Kは、木口から30mmのところを取付けることになっていますが、この位置を短くしたり長くするとどうなりますか？

A2

短くすると、吊元仮固定用キャッチ (AFD-3110-HR-300-HD-74) が使用できなくなります。長くすると、レールの反対側に突出する量が多くなり、収納部である場合は、内側に設置してあるものに接触することがあります。

Q3

折戸用丁番をHD-35 (裏面付け) からHD-37 (木口付け) に変更したいのですが、可能ですか？

A3

戸厚により対応可能です。HD-37は木口付けで、戸厚が30mm以上である事が必須条件となります。併せて左右の隙間寸法が変動するため、再度、隙間寸法を計算する必要があります。木口付け丁番の方が、隙間寸法が少なくなるため、裏面付け丁番の隙間寸法を流用しても差し支えはありません。

Q4

OFD-3Nシステム (アウトセット折戸金具) では、上部吊り車や下部ガイドのカップ掘込み位置を戸端より4mmとカタログに記載されていますが、この寸法をもっと大きく、例えば10mmぐらいにすることはできますか？

A4

できません。戸端よりのカップ掘込み位置を4mmより増やすと、戸を開ける時に枠に戸がぶつかったり、上部吊り車や下ガイドのスライド丁番部分に戸がぶつかったりして、戸を開けることができなくなります。

